

鈴木梅四郎 すざき うめしろう、實業家、政治家。文久二年四月二十六日信濃國上水内郡安茂里村生れ、昭和十五年四月十五日歿（八六二―一九四〇）。舊稱小林梅四郎。號呑天。明治二十年慶應義塾卒。時事新報社を經て、二十回在横濱貿易新聞社社長、二十七年二井銀行入社、三十五年王子製紙に轉じ、専務取締役として社業向上に貢献。四十五年より憲國民政黨より衆議院議員當選、大養毅総理の下幹事長を務めた。

著書に『皇室社會新政』（大正七年二月）『二十一日實生活社出版部』、『修養福澤先生の手紙』（大正七年六月十八日晚成社）、『通し簡見た福澤翁吉先生』（昭和九年十一月三日森山書店）、『立憲哲人政治』（昭和九年十一月八日千倉書房）、『嗚呼』（二月二十六日）（昭和十一年刊。復刊・六十二年三月三十一日慶應義塾福澤研究センター「慶應義塾福澤研究センター近代日本研究資料」）等。

